

事業所名	おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートちゃん3号店
------	------------------------------

公表日

令和8年 2月 27日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・指導室は遮蔽物が少なく、活動に応じて機やパーテーションで空間を仕切る等の環境調整を行っています。	・成長に合わせてスペースの活用方法を検討すべき。 ・室内での運動活動の為にスペース作りが課題。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・児童も増えているが職員も増え適切に対応出来ている。	・送迎時の添乗職員配置を工夫しオンタイムでのお迎えが課題。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・お仕度の順序や1日のスケジュールを掲示し活動を視覚的に示しています。 ・個別課題を行う空間には掲示物を減らし視覚刺激を調整しています。	・スケジュールボードの掲示や扉などには開閉禁止の給カードを貼るといった工夫を実施。 ・特性に合わせてより理解を促せる有効手段を適宜検討していく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・日常的な清掃に加え、定期での整頓および環境の見直しを行っています。	・利用児童の成長に合わせて適宜環境の見直しを行っていく必要がある。 ・児童の行動を観察しより適したレイアウトを随時検討。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・活動や状況に応じてパーテーションで仕切ったり、フロア毎に活動を分けています。	・課題や活動に集中出来る様、卓上型のパーテーション設置を検討。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・朝礼・終礼に加え、職員会議時に改善しうる業務内容の確認を行い、都度話し合いを行っています。	・継続して業務改善に努め、より良い事業所を目指します。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・送迎時や引継ぎ時に保護者の意向の聞き取りを実施しています。	・保護者よりいただいた意見を職員間で共有し改善点について職員全体で検討・改善を実施。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・朝礼・終礼時に支援や業務についての意見を都度確認しています。また個別での意見についても聞き取りを行っています。	・発言しやすい環境や職員一人一人の目線を大事に業務に反映させていく必要がある。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・事業所内および法人内での研修・勉強会を実施。また、法人による児童指導員研修に参加し、参加者は他の職員へ共有を図っている。	・外部の研修や勉強会への参加を促し、職員の質向上に努めていきたい。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・事業所内へ常時掲示を行っています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・1年での大まかな活動計画を立て、1カ月の予定表を組んでおり活動が偏らないに全体で検討しています。	・既存の活動に加え、運動・社会体験等の経験の場を増やしていく必要がある。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・朝礼や送迎後の終礼にてその日の活動振り返りや引継ぎを共有し翌日の支援の体制を職員全体で話しています。	・職員の発言が偏らない様に1人1人の意見を尊重しながら同じ方向を向いて支援を行っていく事が課題。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	28	(28~30は、センターのみ回答)	/	/		
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。	/	/		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	/	/		
	31	(31は、事業所のみ回答)	0	4		
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	・保育園、幼稚園に通園している児童がほとんどで。	・今後、児童館や公民館を通して地域との交流や接点を増やしていきます。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・引継ぎ時に1日の様子や行動面・情緒面について共有を行っています。	・帰宅後のフォローや相談に対して迅速に行う事が求められます。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	3		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・地域住民との接点が少ない。	・公民館など特定の場所との交流はあるが地域住民との関わりは今後の課題です。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			